

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ワコーレ明石相生町1丁目計	階数	地上9F
建設地	兵庫県 明石市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域・近隣商業地域	平均居住人員	174 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,088 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年4月 予定	評価の実施日	2022年9月27日
敷地面積	1,615 m ²	作成者	OKI設計 市来
建築面積	665 m ²	確認日	2022年9月28日
延床面積	4,614 m ²	確認者	OKI設計 葉山



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
明石市の周辺環境に配慮し、市街地の雰囲気と調和する建物になるように計画した。		
Q1 室内環境 T-2サッシを使用する。	Q2 サービス性能 内装計画の段階で石などの天然素材を導入する計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) タイル貼を基調とし、周辺の街並みに配慮した素材とした。
LR1 エネルギー 各種設備配管は極力建物内に収め、外部に露出しない計画とした。	LR2 資源・マテリアル すべての内装材にF★★★★以上の材料を使用する。	LR3 敷地外環境 建物利用者のための適切な量の自転車置場(バイク置場を含む)の確保、駐輪場利用者の利便性(出し入れしやすさ、利用しやすい位置にあるなど)に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される